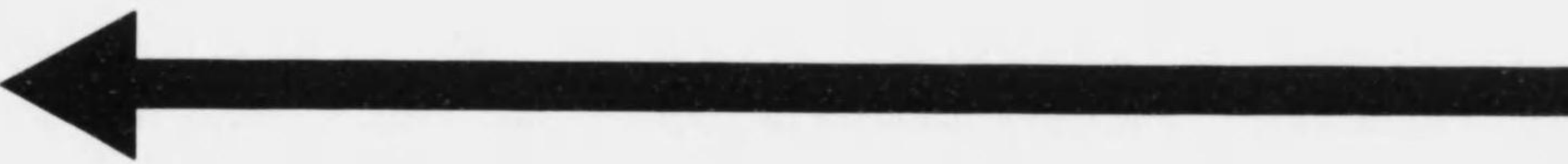


始



特 242

22

木村文助述

地圖出版販賣秘話

京東盛文館發行



特242  
22

# 地 圖 出 版 販 賣 秘 話

## 目 録

第一章 市街地圖

旅客用、居住者用、官署用、都市計畫地圖、稅務署關係圖

第二章 縣管内地圖

郡別圖、近傍圖

第三章 舊版地圖の改造

寫真版印刷の應用

第四章 販賣策の一例

市街地圖の販賣法

第五章 東京はなぜ地圖出版が良くて安いか



東 京 盛 文 館 書 店 發 行





### はしがき

書籍店主として郷土への文化的使命であり、而して永續性をもち、利潤の多い商品として郷土地圖出版販賣を御勧めするに當つて、處女出版なされる仁にも良く御判りになる様、關係事項を一問一答風に述べてみました。拙文で意のあるところ充分つくし得ませんが、之を要するに。

新版は勿論、御手版の改版、其他地圖百般に就て御照會を賜らば、技術販賣の體驗をもこに微力ながら詳細回報申上可く。

此が機になつて價値ある郷土地圖が世に現れ、御客にも嬉ばれ、御店にも板權持有の獨自商品を増す事によつて經營合理化の一端に資せられ得は望外の幸です。

昭和十一年四月十一日

京橋寶橋際にて

木村文助記す

## 第一章 市街地圖

宮崎市文華堂主小倉榮嗣氏來訪  
市街圖出版に付き一問一答  
問は小倉氏、答は拙者

### (一) 旅客用

問 此度本縣下に特別大演習があるのを機會に市街圖の舊版を捨てて、新版を出す計畫てゐました處大阪の神崎君が地圖出版の経験者として切に君を推奨するので商談に出ました。

答 遠方からの御來店光榮に存じます。舊版での御経験により新版への御希望も數御座りましよ、篤き承つて御期待に添へ度いです。

問 舊版は四六全版二切てしたが地圖の型としてはどんなものです。

答 (紙寸法 四六全判 二尺六寸 三尺六寸 四六二切判 一尺三寸 一尺八寸 四六四切判 六寸五分 九寸)

用途により市街圖を大別して三種あります。

(一) 旅客用、(二) 居住者用、(三) 官署用、  
而して(一)には更に「廣告を兼たハンフレット風」のもの「鳥瞰圖」「普通の地形圖」等限りない  
のですが、いづれに致せ旅客用としては「四六四切判」を限度にせねばなりません。

東京、大阪、仙臺、等の大都市の圖で半切型以下へは縮少至難の土地のものでさい、旅の人は  
「四切型」を望まれます事は事實です。

精緻のもので四切型を御勧めします。

(二) 居住者用、(三) 官署用に就ては追て御話します。

地圖に最も適應する印刷方法を承り度い。

地圖印刷に際し先づ元版(モトハン)を作るに大略三つに區別されます。

(A) 書き版 (B) 寫真版 (C) 銅版  
刷方に

(A) 石版刷 (B) オフセット刷

(A) 書き版による石版刷!!

答 問

貴店の舊版地圖が其てして、仕上のを比評するに

**缺點** 「總ての線や點が太く出る」「色が強くドク／＼しい」「再版の際修正面倒」「銅板彫刻費ミ  
書き版代ミの差を比較するに永久性の少い割に料金が低廉でない。」

**特色** 文字や圖案等の場合は此の缺點が美點に代つて地圖の表紙などは是非此の方法でないに感  
じが出ません。

再版見込のない全判程度の大形の時は元版代を減額する意味で書き版を擇ぶ場合は應々あ  
ります。

(B) 寫真版による石版刷

原稿圖面を寫真版に擴大、或は縮少(原寸法尙よろし)轉寫し元版を作り石版又はオフセット  
印刷するもので此の技術は最近應用の途が加成り廣いので詳しく御話しを申上ます。

**特** 原稿圖其のまゝ轉寫されるので校正の手数は勿論不要、製圖さい完成してあれば轉寫工程  
に印刷日程だけですから割合單日に仕上りますので急ぎの場合は重寶です。

**色** 書き版や、銅版に於ける整版科の出費を要しませんから生産費を低減させる譯で、亦元版  
は再版迄保存され得るです。(一萬枚内外迄刷れます)

**缺** 製圖原稿圖其のま、轉寫されるてすから其の原稿圖は本格的製圖（墨一色）でなければなりません、製圖料は製圖家によつて極めて不同てすが大体銅板彫刻料より少々安い程度てす、亦元版は永久に保存不能の事。

**點** 銅板による印刷より、鮮明を缺く事。

此を要約すれば、正確なる製圖が割安に手に入つた場合、又は低廉に製圖が仕上つて尙急ぎを要する時は此の方法が好適のものです。

刷は少枚数を石版に大量をオフセット刷に廻します。

次に寫真版の應用の實例を申せば、

今茲に四六半切判の縣管内圖元版を持有なされて、其の縣内の北部地方だけ或は一郡だけの地圖が入用である場合、元版から必要部分を擴大縮小自由自在に抜き取つて部分的の地圖の元版を製する事が出来得ます、現に某縣管内地圖から郡別地圖を再製して立派に賣品として扱つてゐます。

てすから元版を御持ちの方は御手版の活用に就て是非此の際再検討を望みます。

(C) 銅板によるオフセット刷

現今の印刷技術として地圖印刷には(C)の寸法が決定的最適法でありまして

**特** 書き版や、寫真版の缺點である、文字、線、等が鮮細至極に圖面に表現される事。

**色** 再版の場合、修正自由自在、元版の壽命が永久である事は銅板のもつ最大特色であります。

**缺** 進歩せる印刷術にひきかへ銅板彫刻の技術は「面作り」にも似て藝術風な仕事として、日限を切つて約束するも刻る人の氣分で延る場合もあり、先づ「四切判型」一枚仕上る迄一ヶ月の豫定を見ねばなりません。急を要する場合、因る時が度々ありますが其の際は數人て振分けて仕上る手もある譯です。

以上で元版を作る三方法の比較優劣は御判りてしよ。

刷方は一般常識的に御承知は存じますが。

石版刷の仕上りはベツトリミして色も濃く、地圖には不適當。

オフセット刷は總体の色の感じが柔かて、線、點、も細く色は淡く、而して大量なれば費用も格安に刷れますので理想に近い方法です。

市街圖として色は幾色が適當てしよ。

答

六

一目整然たる圖なれば、墨一色刷でも地圖としての目的には適ふ譯ですが。白紙へ墨一色刷、袋もなし、其では商品としてはどうかと思ひます。商品價値を付ける意味で或る程度の色も掛け度いし、袋も感じの善いものを添へ度いですね。

元版が墨、河川海が藍、市掛地が桃、岳が茶、の四色に掛合せ色を一色出して五色四度刷、其の邊が市街圖として申分のいところですよ。

でも枚数の少ない、初版の時は元版墨一色へ他色一種を配色し、再版から色を増すのも一方法です。

問

答

原稿圖として舊版二點、及他版を参考に持参して來ました、此で更に新しい原稿圖を作成せずとも扱つて貰ひましたよか。

基本となる原稿圖が不備です。銅板彫刻に時間を要し、校正刷を幾回も提出せねばならぬ、無駄な費用を時日を費します、元則として絶体正確の原圖を頂き度いですが、適當な製圖者を得られぬ際は資料を御提供下されば當方で實費で御作りも致しますし、亦資料が完備して本職の製圖者を要せぬ程度のものでしなればサーピスに拙者が補足して彫刻方へ廻します。

問

答

版目錄を入れ度いです。

結構です、市街圖販賣に永續性を持たしめるには、土地の案内肥を兼ね、ばならぬものとして私も手版數種へ實現して好評を得てゐます。

枚数の少ない初版では單價が高くなつて無理ですが、貳千枚以上なら單價も低下します。寫眞はキャビネ形を送つて下さい、「寫眞銅板」にし、説明文は活字で組んだものを寫眞版にし全面オフセット刷、色も御好み通りセピアかブリウカ御撰び下さい。

適當の紙質は。

陸地測量部五萬分圖の紙質が理想ですが素人は厚味の紙を喜びますし、其に裏刷がありますので模造紙八十斤が手頃ですよ。

問

答

表紙は十斤増して九十斤、此で連り合ひが出来ます。

再版には單價がこても安く付くですよ。

地圖出版の味は再版にあることは勿論ですが、餘り御期待が大きいと實際はチャク／＼云ふ場合もありますので、「割りがよくなる」程度に思ふて頂きます。

地圖の性質上年毎に補充訂正を加へねばなりません、其等の費用も加へ再版の節は極力單價低

問

答

七

下に仕上りして、内容印刷總て他版の追従を許さぬものを出版し、年年版を重ねてゆき度いものです。

色々承つて、有難ふ、では銅板による四色オフセット刷、裏一色、表紙二色、一萬枚註文します、見積を下さい。品の善いのも必要ですが、商品である以上正味も御やすくなければなりません勉強し爲さい。

イヤ、御説、恐縮、遠來の御客で私も感激してゐますんで、出精のころ見積り差上ります。

技術上の仕事でもあり、値段は値切りません、親切なものを作つて下さい、支拂方法は。

手付金總額の三分の一。第一回校正刷出來の際三分の一、残は現品引換に頂戴致し度いです。

## (二) 居住者用市街圖

四切判型の旅客用市街圖が済めば續いて番地入地圖を作ります。豫め内容を知つて置き度いです。

市制施行の街なれば百般の必要から必ず番地入半切判型の詳細な地圖の需要が當然ある譯で、

問

答

問

答

問

答

引續いて御計畫を御勧め致します。

賣行の数は旅客用の約三分の一でしよか、

市役所土木課方面との連絡を得て、縮尺の正確のものを作り官署用として代用して貰ひますれば、一年販賣部数の豫定も付きました誠に好都合、現に當店納品圖を此の方法で販賣し好成績を擧げてゐらるゝ御店が三店ほごあります。

定價は二切判で参拾錢乃至五拾錢迄のものが市場に在りまして、裏面は名勝の説明よりも、町名一覽さか、市の統計或は火災保險の等級其他必要事項を刷るも一案で。

幸に四版切の新元版を御持ちですから、其を基本に擴大轉寫して、要所へ番地を入れ、出版枚數によりまして銅板によるか、寫真版によるか、見積りしよ、研究さして貰ひます。

## (三) 官署用市街圖

役所方面にも運動して見しよ、此迄官署向として作つた圖を見本に一通り纏めて下さい而して其方面の要領を御聞きし度い。

問



官署で市街圖の需要の多いのは申迄もなく、其地の市役所で、其の中で、土木課、上、下水道課、電氣課、は各部専用のもので使ひます、更に監督官廳へ提出用地圖を多數用ひます、此は各課スケールが一定されてゐて、毎年全一スケールの圖の入札がありまして、一度納品すれば元版を持つものが最低値に札を入れ得る譯で、スケールの變更のなにより永く御用を務められ得ます。

◎都市計畫用地圖。

大都市は一通り済みましたが全國の小都市に都計案が施行され、目下盛んに此方面の特製地圖の需要が増して來てゐます。

例ば、都城市都計地圖の場合は都城市役所と宮崎縣廳との協同事業として、全一圖を千五百枚なれば千枚は都城都計課、五百枚は縣の都計課に分納します。納品支拂一切縣で取扱つて呉れます、ですから此の圖に就ての運動は市役所に致しても無駄で、縣の該課を動かさねばなりません。

初版は墨一色、再版からは道路色別の印刷で、絶体銅板を要するもので、亦此の版が近き將來の該市街圖の基本となるものですから薄利でも仕事を引受けて置きますれば後に色々便宜があ

るに信じます。

私直接の仕事として數市のものに手を掛け或は其の原圖を（四六全版）四切版に寫眞縮寫して賣品に應用販賣の市もありまして都計圖には經驗済ですから御協力を致し度いです、殊に縣廳所在地の貴下の御努力を切望します。

◎稅務署關係地圖。

稅務署には土地調査人組合の機關が付屬してゐまして、此の團體が職務上の必要から、最も縮尺の正確な地番入市街圖の出版が各地組合に計畫される傾向になつてます、市街圖の原を爲す材料中唯一のものは稅務署の土地臺帳ですから此を正確なスケールに轉寫すれば此れ程正しい市街圖は絶対に他にない譯で都市には是非實現せられなければならないものでしよ。

某市の土地調査人組合の御用で縮尺五千分圖を作りました、此の大き四六全版三枚貼合て大形地圖のレコードでした、組合の手で地主連中や保險會社、銀行、金融、土地關係者へ捌へて三千枚程賣つた外原板は土地の市役所土木課へ賣付けて結成績を擧げたものでした。

了通覽の計刊通覽は土木課の委託で、秋田県管内の各町村に配布された。...

### 第二章 縣管内圖

秋田市三光堂渡邊末治氏  
秋田縣管内圖に付き一問一答  
問は渡邊氏、答は拙者

問 縣の土木課から四六半切版縣管内全圖の新版納品を命ぜられまして、原圖を持參、印刷方面の常識は昨年の市街圖出版の際一通り學んだつもりだが、販賣方に付て他縣等の振合を承り度い、無競争で御用を得らるゝは貴君の御信用も偉いですね。原稿は土木課の手で仕上げたもので本格上々、勿論銅板による四色五度、オフセ刷、而して枚數は。

答 枚數に付ては縣廳でも確實枚數が判らぬ由で、縣の意向としては、一時に大量納品の要なし、當店に常備させて縣は入用次第購入する、但し品切絶對罷在りならぬ云ふ契約なんですが他縣土木課一年の使用程度はどんな數でしよ。

問 遠く關西の縣の例を引くより、近接の宮城、福島、兩縣廳使用數から（兩縣共當店扱）見ますれば一ヶ年千貳百枚程度の用意あれば充分です。但し再版増補訂正の折は少なくとも二ヶ月前

問 答

から準備せぬ品切を出さぬにも限りません、此の邊手配が大事です。では初版千五百枚掛けて下さい。

有難ふ、御引受申します。

倍此度の管内圖は競争なしの特權的出版で結構ですが、一時納品でないので一年通してストックせねばなりません、採算から見ても少々割が悪いですね。

そこで此の際交換條件として管内圖を市場一般販賣の諒解を得爲さつたらさうです、交渉の理由は（一般賣品を加へ大量製産せば縣への納品單價も低下し得る）云々、而してストックの不利を一般賣品の利で理合せするにせば兩得に存じます、後日に一般販賣品の件を申出るのはまづいです、此の際なれば易しく話が付く事と信じます。

此は至極妙案です、斯くせば縣への納品も事實上安く付くし一般公衆も正しく詳しい地圖を期待して居ますので、官民嬉を一にする良策で、早速諒解させましょ。

先回出版の秋田市街圖よりは形も倍、内容も精緻を要するので仕上り迄の扱ひ上注意すべき點あらば承つて置きます。

答

色々ありますが、先づ校正の仕方に就て御願ひ度い、校正に際し、單に「數字を少さく」

問

直してあるのでよき程に少形に直せば、此度は「形はよいが線を細く」に更に校正爲さる。

此では全く工場泣かせて、斯した場合は、抽象的に書かず、初めから御希望の「少さく細い」字体を形に表して下さい。此に全じ意味で、山の色を「や、淡鼠色」に仰せの爲め御氣に入る色を出す爲めに三四回も校正を往復させたです、斯した時は再校の時に貴下の御希望の色を他の印刷物から切取るか、或は水彩畫の色で色見本を添へて、此の通りの色に直せに仰せ頂きますれば其で済むので、校正は總て具体的にご篤ご御願ひします。

◎郡別地圖。もちよ／＼客から望まれますがごんなものです。

郡役所存在時代の郡圖に云ふ意味でなしに、縣内を需要目當てに區分して中心となる町の「近傍圖」風のものごすれば見込があります、唯だ點數が多くなるのでストックも考慮せねばなりません、て縣内地方有力店ご協力し關係地各店に或る部數を引受て貰ひ、殘餘を常備すれば縣内一揃ひ出版が出来て採算もこれます。

内容は單色で四切版スケールを六萬分程度にして、五萬分測量部地圖記載部落名を取入れ交通機關の最も新しい調査を基ごすれば有望であり永續性のある商品となります。

◎分縣地圖の經驗に就ては。

問

問 答

答

四切版壹部定價拾錢の類似地圖が市場に三點程扱はれてゐます、其々特色を持つてゐますが、いづれも全國の縣を出版してゐます關係上調査不充分の點もあり、郷土の方に注視されるに加成り訂正を要するものが多く、地方縣地圖は郷土の書店主の良心的出版に待たねばならぬものではないでしよか。

(全國統一縣地圖出版は別問題)

初版は奉仕、再版から多少採算がこれます、利益を或る程度に限定し、調査に力を注ぎ眞に客の求める各方面の事項を組入れて版を重ねたなら、他の追従を許さぬ、意義あり而して特權を持つ商品が出来ると信じます。

勿論郷土縣一縣に熱中せねばならぬ事でしょう。

私は此迄各店の分縣圖を取次販賣してゐましたか、私の郷里縣の分縣圖を前述の建前から過般來出版販賣を實現した譯ですが。

自信のあるものだ、賣つて見よう、販賣方法を一新努力致した處從來の倍の數が動きました。

定價拾錢の商品ですから、額の點から見れば僅少のものではありますが、出版意義がある事、永續性を持つ品であるだけに扱つて興味が別格別です。

### 第三章 地圖の改造

甲府市柳正堂大塚源太郎氏  
御宅を訪問手持元版の改造  
に付き一問一答

私

御手版山梨縣地圖改版御照會有難う、手紙や電話で儘せないところがありますので御伺ひに出ました。

大氏

毎度御足勞様、實は手持の縣管内圖(二切判)、部落名が不詳明だ、再々非難されるので客の御要求に報ひ度し、亦手持の銅板も捨てずに更生させて見度いので意向を尋ねた譯さ、君の好きなブドウ酒を用意してある、チヒくやつて妙案を聞かして呉れ。

私

市街圖の用件で先般伺つた時頂戴した、  
本場白ブドウ酒へ和酒の極上を(冷)カクテルしたあの味。私としては空前のものでして、忘れようありません、地圖の注文を頂くよりも嬉しかつたです。

大氏

正味を勉強さいすれば、いつてもブドウ酒くらへドミドン出すよ。

私

御酒の話さくるさ切がないです、此の邊でやめ、本分に入りましょ。

一八

先づ御手持の銅板を生かす事に眼目を置いて考へます、部落名が少さく不鮮明の原因は、隣接地を餘りに多く取り入れ過ぎてゐます爲めに自然本分の縣内主要部のスケールが縮小されてゐるから地形の説明も小文字にせねばならぬし、不鮮明さもなりましょ。ですから縣中央部を二切判一ばいに擴大し餘白あれば近接縣を入れるし、縣内でも縣界の山岳部地方は輪廓外に出しても成可く中央を廣くこりましょ、其の方法は第一に銅板から清刷をこり、其を寫眞擴大し前記通り不必要部分は切捨て半切版にひつたりする様体裁を作ります。

大氏

私

さすれば不鮮明の部落名も見本通り鮮明に見られます、擴大スケールで一部分寫眞を持參致してます御覽下さつて、此の程度でよろしければ早速取掛ります、御研究下さい。

参考材料を見せて貰ひば判断にも好都合だ、其にきめてもよいが、銅板による印刷の場合より清刷から寫眞版に轉寫印刷は感じがみんなものか。

御尋ねの通り此の方法は仕上りは感じが淡いです。

然し銅板も捨てず元版總体の体裁を引次いでの再生版には此の方法よりないので我慢して下さい、寫眞整版に極力念を入れさせます、寫眞關係には出來不出来があつて自信のゆく迄修正さ

大氏

せるさ見積額から足を出す事が度々あつて不安ですが、私は仕事好きでして經驗にもなりますので進んで御引受けをしてゐます。

次に、御手版の市街地圖あれで結構、地圖さして目的に適ふてゐますが、物足りないね、商品さして正眞過ぎて、低價賣りせねばなりません、氣麗な袋を添へ、色版を増し、裏へ名所案内でも刷込さか、半切に改造するか、いづれにせ卸向の場合、小賣店に於ても價値があつて利率の多い方を取扱ふ事は當然ですから改造の必要がありませんね。

各種の地圖が目立つて賣れて來たのは至つて最近で、新商品に付ての新知识は若い者から聞かねばならん、大きに参考になる。

他に話しがあつたら拜聴しますよ。

## 第四章 販賣策の一例

私

市街圖販賣に就て最近の實例にこんなのがありました。

某市の書籍店主が處女出版に市街圖を作られ、内容、体裁とても良い出來榮で御自慢のものでした、處が他の全格都市に比較して再版の注文が餘りに延びてゐますんで私も不審にし、よく販賣方法を調べますと、何と驚いたです。

品さいよければ遠方からも客は尋ねて來るゝ誤信されてか、其も他に理由があつてか廣い市中に自店だけで賣つて居られた譯で。

尤も此で盛に賣れたら此に越した商賣はないが、地圖を求める客人は主として旅の人ですもの通筋に手易しく求め得られねば、よす方も多いと見ねばなりません。

其で私は、態々某市へ出向いて斯した商策を立てました。全市内全業者數店へ頭を低ふして先づ協力販賣方の諒解を願ひ、各店名を地圖表紙へ刷込み、ポスターを作つたり、スタントを備へて配布し、積極的に出ましたので、市内全体が氣を揃へて賣つて下さつたものです、元々内

容のよろしい地圖でしたから賣足も早く、追付再版を重ねた云ふ譯です。

地圖は廣く淺く主義に配布し場所によつては書店外の文具、雜貨店でも旅客の出入の多い店は勿論の事、驛付近のバス待合所、物産館御土産さん等で客の目に付く所へ陣列して貰へば相當賣行のあるものであります。

殊に驛賣店の販賣能力は大きいもので、一ヶ年三千部捌く市に例ひますれば、半數千五百枚は驛賣店が扱ふ數でありますから手版を賣店へ賣込む場合は單に卸賣をする云ふ態度でなしに一步進んで共榮的條件を付けて取引を開始し、再版、改版の時は驛賣店の地圖に對する希望などよく聞いて差支えない限り要求を入れて親善の關係を保持する事を切望致します。

木版時代からの老舗の大將を前に、釋迦に説法、知つたが振りて、失札、ブドウ酒の勢です御許し下さい。

## 第五章

地圖の出版は、なせ東京に良くて、安いものが出来るか？

日本六大都市を初め中小都市に於て印刷所設備の完成、技術の進歩、は近來目ざましいものがあり、整版代、印刷費、は各地は、全値段、殊に洋紙相場に致つては御案内通り製紙會社の合同以來、全國殆ど共通價格に申してもよろしいですよ。

斯した全國各都市印刷界の現況であるに、どうして地圖出版だけが東京に、良くて安いものが作られるですよ。

精緻地圖印刷には絶對銅板の元版を要する事は前述（五頁）してある通りで前提として御承知置き下さい。

今、假に例を挙げます。

北海道廳から地圖の競争入札の公告が出て、札幌一最大設備の印刷所が私に競札するに、札幌では勿論印刷の工程は自分工場では仕上げますが、元版なる銅板だけは、なんにしても東京へ依頼

せぬばならぬ事情になつてゐます、銅板所は地方印刷所からの註文に對する料金は特約のない限り表相場を要求します。

如何に、用紙、印刷料、を低價に見積つても生産費の大部分をなす銅板費に於て若し、私よりも數段高價のものでしたなら、私の見積り札幌のでは單價に大きい開きを見ねばならぬ譯です。

私は地圖競争印刷心勝の秘訣は「銅板費の高低にあり」を悟つて以來は、彫刻師の多くは仕事の關係上東京に居住して居られます（大阪に極小人数）のを幸に彫刻界の内情に深く立入つて、技術者一般の氣質、個人別に技術の優劣、師弟關係、收支經濟方面、一切の事情を知る爲めに廣く交遊を重ね、數年來顔も賣つて來て私としては東京の業界には良く精通してゐるつもりであります。其故に、

茲に銅版による地圖の註文を受けたります、此の原圖なれば誰が得手か又今仕事の繁閑はどうか其此を調べて適任の人へ振當てます、ですから、費用も彫刻師の要求のみを主とせぬ時もあり、製品總体から割出して指値する事も出來ますし、場合により數人へ競争さしても最低値に作りますので地方印刷所へ彫刻師から請求する値よりは斷然安く、而して氣に入つた仕事をさせ得る自信を持つ者であります。

此が安く仕上る唯一の理由です。

次は良いものを作り得らるゝ理由。

オフセット印刷所の職制に整版工と云ふ職があります、此の職は元版からヂンク板に版を轉寫整理し、印刷機へ仕掛ける技工で、職長に次いで、経験を要する職であります、近頃平版もの（寫真版の如き）の整版が多くなつて來てゐる爲め「整版師で御座い」を自稱してゐても銅板からの整版に丸て無經驗の若い人なきがあつて工場主を苦笑させてゐる始末で、

銅板に永い經驗を持つ優秀なる整版工の居る特定印刷所で初めて良い地圖が生れるので、東京でも安心して印刷を依頼し得る工場はザラにある譯のものでなく特種印刷物に申すものでしょ。

ですから銅版整版工の少ない地方印刷所に掛合色の良い地圖の仕上を望むのが無理と云ふものです。



請負出版に手持りて各種の地  
圖を手持ちしてゐます、御希  
望の種類を詳しく御申越下さ  
いますれば該當のものを御参  
考に贈呈します。  
送料四錢切手を添へて私宛御  
仰付下さい。

木村生

全国の  
書店主各位様

昭和十一年四月一日印刷  
昭和十一年四月十一日發行

(非賣品)

著作権者  
兼發行者

木村文助

東京市京橋區寶町二ノ一番地

盛文館書店

振替東京三五六三二番

印刷人

榮進舎印刷所

東京市京橋區八丁堀三ノ七番地

終

